

施設長ごあいさつ



社会福祉法人 光風会
特別養護老人ホーム たちばなの里施設長

片岡 暁

平成11年3月21日の開設以来20年が経過しました。

この間に、温かいご支援を賜りました地域の皆様をはじめ役員の皆様そしてボランティアの皆様にご心より感謝を申し上げます。

さて、特別養護老人ホームたちばなの里では、理事長が示された理念及び運営方針に基づき、地域の高齢者の中心施設としての役割を果たすための事業実施や利用者の方々が安心して生活出来る場の提供に努めてまいりました。

バブル経済崩壊後の不景気が続くこの20年間で日本の社会・経済構造は大きく変貌し社会システムを大きく変えました。

これに伴い、人々の価値観やものの考え方にも変化が現れはじめ、それに応じて事業の見直しや生活環境の整備を行いました。

例えば、介護にあたる職員が利用者のニーズに応えられるよう自身の資質や技術を向上させるための研修会等に参加することや仕事に必要な資格を取得することを奨励するとともに必要な費用と時間を保証する制度を創設しました。

子育て中の職員が自分の子供の近くで安心して就労できるよう施設内に保育所を設置し若い労働力の確保につとめました。

多床室（4人部屋）に入居している利用者のプライバシーを護るため多床室全て（18室）を個室に改造しました。

入居者が毎日快適な生活環境の中で生活出来るよう施設内のエアコンを取り替えるとともに全居室の窓側カーテンを二重に改装し、保温効果を高めるとともに室温と外気温との調整が図れるようにしました。また、二種類のカーテンを使い分けることで視覚による季節感を感じられるようにしました。

安心・安全面では、全居室（41室）の床タイルを転倒しても衝撃の少ないソフトなものに改装し、暗がりを嫌う高齢者が多いことから施設内の全照明をLEDに交換して昼夜点灯することで安心して生活出来るようにしました。

これからも、その時代時代の要請に応じた取り組みで理念の実現に努力を続けることと、引継ぎました先輩施設長の木村忠雄さま、細見光子さま、岡野等さまが築き上げてこられた地域の皆様との強い絆と信頼関係などの歴史を無事に次の世代に引渡してまいります。

どうか皆様、引き続き特別養護老人ホームたちばなの里に温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。